

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		環境清掃部一般管理		款	6	項	1	目	1	事業	1	整理番号	444	
担当部課名		環境清掃部環境課		係名	庶務係			連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	432		
上位施策No・施策名		16 環境施策の枠組みづくり		予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	5	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			環境清掃部内職員		根拠法令等		(1) 杉並区組織条例 (2) 杉並区職員の旅費に関する条例					
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			○庶務事務等を通じて、環境清掃部内各課の円滑な事業運営を行う。		活動指標名(式)		(1) 環境清掃部職員数 (2)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○旅費等の費用弁償や業務上必要な事務用品類を購入する。 ○事務機の保守等の部内各課の連絡調整を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)	①	人	370	354	354	353	348	333	104.5	98.6			
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③												
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	2,469	3,910	2,428	3,960	2,569	3,776	21年度予算執行率% 64.9				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	147	147	146	147	146	147					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.06 0.00	1.50 0.50	1.59 0.50	1.50 0.50	1.60 0.50	1.50 0.50					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	18,828	13,575	14,390	13,319	14,206	13,319				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	1,400	1,400	1,397	1,397	1,397				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	21,297	18,885	18,218	18,676	18,172	18,492					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	57,559	53,347	51,463	52,907	52,218	55,532					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	21,297	18,885	18,218	18,676	18,172	18,492					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 444

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	出張時の旅費等		
		再生紙等購入			645
		事務機リース代・消耗品購入等			978
		事務機の保守委託			146
		その他 ()			0
	(2)事業実績	昨年度に引き続き、事務機リースや用紙の裏面使用の徹底、部内各課の再生紙使用量の管理調整等により、事務の効率化とコスト削減に努めました。また、緊急な連絡等に迅速に対応できるよう旅費の支出を行い、現場の問題に的確に対応できる体制を整えました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度に清掃事業が移管され、組織改正により職員数が大幅に増加したため予算額(旅費)が増額しました。平成14年度からは、用品会計の廃止に伴い再生紙を部で一括購入することとなったため、予算額(需用費)が増加しました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区民からの区政に対する意見・要望は年々多くなっています。とくに、経済の低迷とともに効率的な予算の執行を求める声は大きくなるばかりで、常に事務事業を見直し経費の削減に努めています。			
	今後の予測	省エネ法や環境確保条例に基づく、区独自の新たな環境・省エネ対策実施プランに対応する取組みとして、温室効果ガスの削減とともに、光熱水費等の経費を縮減します。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓)	環境清掃部の業務を円滑に遂行していくために必要です。			
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	再生紙の裏紙使用を徹底します。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	部内職員のための経費なので受益者負担には該当しません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)	決算執行率の低い項目については、実態に合わせた予算編成としています。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)((4)へ)	(2)協働等の相手			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題		部の予算・決算や各種報告事項の調整など、部内各課の職務の支援を行っています。また、平成22年度からは、法令等により温室効果ガスの削減が義務化され、区独自の環境・省エネ対策実施プランを作成し全庁をあげて取り組むとともに、光熱水費等、経費の削減につなげます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	資源再利用等のルールが着実に根づいてきていますが、杉並区環境基本計画の改定作業により、今年度の執行済額は前年度に比べ微増となっています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	新しい環境基本計画に掲げる「脱石油社会」実現のため、庁内イントラネットの活用等により、不必要な印刷をやめ必要部数の精査と裏面再利用によるコスト削減、ひいては省エネ・省資源をさらに進めていきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	省エネ、省資源は、「これぐらいなら」「自分一人ぐらいなら」といった気持ちが最大敵ですが、一人ひとりの毎日の取り組みが必要です。結果が目に見えないため、どうしても疎かになりがちになってしまいがちですが、定期的な確認を行い意識啓発を図っていきます。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理 由	予算のほとんどが部内職員の旅費の経費や事務機リース代、消耗品購入費であるため、今後も一定額を確保していく必要があります。今後も、コスト意識を持って、支出の削減に取り組んでいきます。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		環境清掃審議会の運営		款	6	項	1	目	1	事業	2	整理番号	445	
担当部課名		環境清掃部環境課		係名	庶務係		連絡先電話番号		3703		昨年度整理番号	433		
上位施策No・施策名		16 環境施策の枠組みづくり		予算事業区分		既定事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	9	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		区民一般、事業者等、区内全般		根拠法令等		(1) 環境基本法 (2) 杉並区環境清掃審議会条例						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		○有識者や各種環境団体代表及び公募区民からなる環境清掃審議会の意見を環境行政に反映していく。		活動指標名(式)		(1) 環境清掃審議会の開催回数 (2)						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○環境基本法(平成5年法律第99号)第44条の規定に基づく区長の附属機関として、区の環境保全並びに廃棄物の適正な処理及び再利用の促進に関して必要な事項を調査審議する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 環境清掃審議会での審議・報告件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	回	9	12	13	8	8	6	133.3	100.0			
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	件	52	40	49	40	34	40	85.0	85.0			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	2,423	5,493	2,968	4,173	1,911	3,425	21年度予算執行率%		45.8		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	0	1,329	808	1,025	507	865					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.00 0.00	0.50 0.50	0.50 0.50	0.50 0.50	0.50 0.50	0.50 0.50					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,140	4,525	4,525	4,440	4,440	4,440				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	1,400	1,400	1,397	1,397	1,397				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	11,563	11,418	8,893	10,010	7,748	9,262					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,284,778	951,500	684,077	1,251,250	968,500	1,543,667					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	11,563	11,418	8,893	10,010	7,748	9,262					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 445

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				審議会委員報酬	22
		審議会運営事務費			507
		その他 ()			0
	(2)事業実績	専門部会の開催2回を含む計8回の審議会を開催し、環境清掃行政に関する区民意見を区政に反映することができました。具体的には、平成20年9月に専門部会を設置し、環境基本計画改定に関する答申をいただき、新しい環境基本計画に反映することができました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年に策定した「環境基本計画」を今般改定した際には、審議会に部会を設置し、環境基本計画のあり方についての答申を出すなど、改定に重要な役割を果たしました。今後も環境先進都市を目指す杉並区のさまざまな課題への取組みを推進する役割を担っています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の環境清掃問題に関する関心はますます高まりを見せており、環境清掃行政に関する区民からの要望・苦情は多いものの、審議会の運営そのものに関する意見はありません。			
	今後の予測	新たな環境基本計画の進捗状況について、審議会によりわかりやすく説明し、意見を計画の見直しに反映させていきます。また、個別案件としては、杉並清掃工場建替事業や京王線連続立体交差化及び複々線化事業に関する環境影響評価について、審議会からの意見を各々の評価手続きに反映していきます。			
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	区の環境清掃に関する施策を進める上で、重要な課題を審議しています。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	報告案件の件数等を調整し、重要な審議事項については、十分な時間(開催回数)を設けて議論できるようにします。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	事業の意図は、区全体の環境保全や快適環境の維持を目的としているものであり、特定の個人や団体に受益が偏るものではありません。			
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		環境清掃審議会の委員は、学識経験者をはじめ、町会、PTA等各種関係団体の代表及び公募委員からなり、これまでも区の環境政策に対し、多くのご意見をいただいています。このため、審議会の運営にあたって、区は、より一層わかりやすい資料作成や説明に努めるとともに、重要な案件については、専門部会を設置しご議論いただき、幅広い意見を区の環境政策に反映できるよう努めていきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	環境清掃分野の施策に区民の意見を必要に応じて反映していくことが、審議会の目的・目標であり、その結果区民が満足する事業を展開していくことが求められています。そのため多方面からの意見が集約できるよう、今後、委員の改選時には、その社会背景等を考慮した構成の見直しを検討していきます。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	専門的な意見と一般的な区民感覚の中からの意見をバランス良く得ることで、多くの区民に納得してもらえる事業を展開していきます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由		

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		環境保全の普及啓発		款	6	項	1	目	1	事業	6	整理番号	449					
担当部課名		環境清掃部環境課		係名	庶務係		連絡先電話番号		3703		昨年度整理番号	437						
上位施策No・施策名		16 環境施策の枠組みづくり		予算事業区分				既定事業										
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	45	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 環境基本条例 (2) 環境基本計画												
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○住宅都市杉並において、区民の環境問題に対する意識をより一層高めていく。		活動指標名(式)		(1) 環境白書配布部数 (2)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○環境基本計画進捗状況調査結果の公表や環境白書の発行、環境パネル展の開催を通して、区民に杉並区の環境の現状や課題の内容をお知らせする。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
				成果指標名(1)		環境基本計画の目標達成率												
				算定式・指標の説明等														
				成果指標名(2)		生活環境全般をよと思う人の割合												
				算定式・指標の説明等														
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%						
			実績	計画	実績	計画	実績											
指標	活動指標(1)	①	部	900	450	450	900	200	500	40.0	22.2							
	活動指標(2)	②																
	成果指標(1)	③	%	93.5	100.0	89.1	100.0	98.2	100.0	98.2	98.2							
	成果指標(2)	④	%	86.3	95.0	87.7	95.0	91.2	95.0	96.0	96.0							
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	647	8,568	8,234	2,431	550	2,273	21年度予算執行率%		22.6						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費	⑦	千円	0	8,003	7,875	68	14	24									
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	活動指標(1)の21年度実績については、環境基本計画の改定にあわせて環境白書の見直しを行った結果、平成21年度は経年データのみを掲載した環境白書(資料編)を必要最低限部数で印刷したため、低い達成率となっている。							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,140	9,050	9,050	8,879	8,879	8,879								
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	9,787	17,618	17,284	11,310	9,429	11,152									
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	10,874	39,151	38,409	12,567	47,145	22,304									
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0								
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0								
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0									
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0									
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	9,787	17,618	17,284	11,310	9,429	11,152									
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

